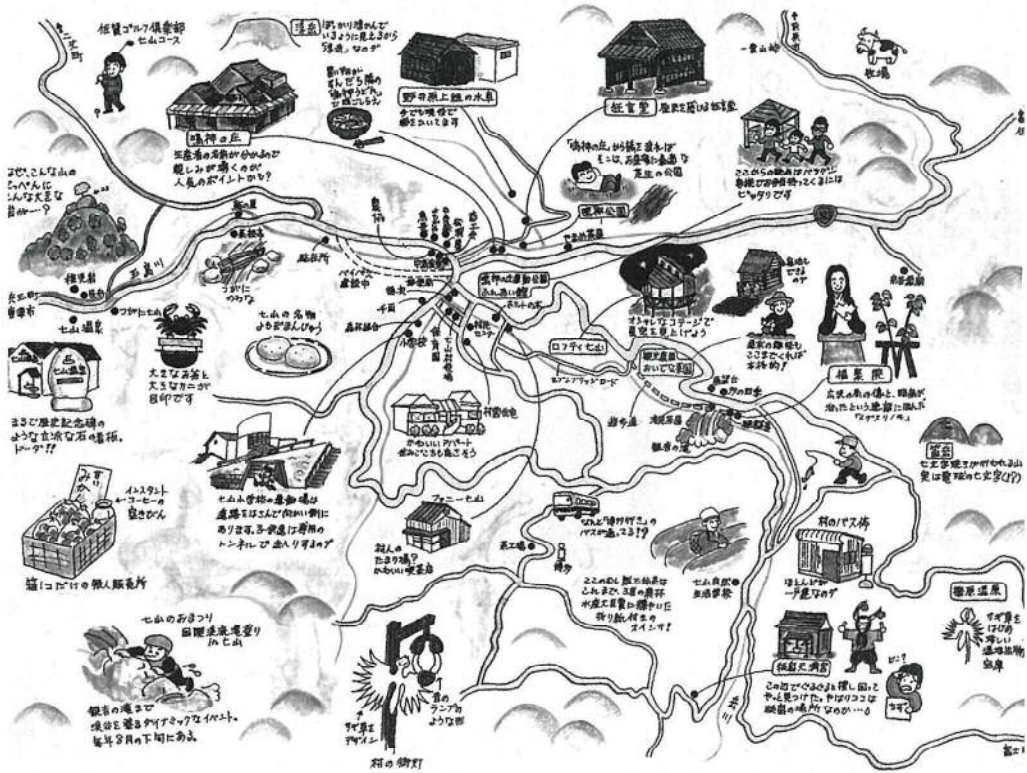




むつどろ

福岡市佐賀県人会会報



『七山村おさんぽマップ』

目次

表紙 七山村「ななやまむら おさんぽマップ」

平成11年度総会.....2~3

ご挨拶 法務大臣 陣内孝雄・福岡市長 山崎広太郎.....4

ふるさとの首長・ふるさと紹介(七山村 岡本研一村長).....5

私の履歴書(宮副博昭さん).....6

このごろ私は(大串安弘さん、島内宏さん、清村克行さん).....7

佐賀県だより.....8~9

'99 郷土の歳時記・地方統一選挙全員ご当選.....10~11

最近の入会者名簿・佐賀情報センターだより・編集デスク.....12

39

1999.7

に交えさせて頂きます。ありがとうございました。」

続いてご来賓の紹介に移り衆議院議員の保利耕輔氏、坂井隆憲氏、山崎拓氏、参議院議員の陣内孝雄氏（代理）、そして福岡県議会より、田中久也氏、古川忠氏、井出勝美氏が紹介され、市議会からは南原茂氏、川上義之氏が紹介されました。又、太宰府市議の岡部氏や、鳥栖の牟田市長もご参加頂き、さらに佐賀県からは県企画交通局の吉野副局長にお出で頂きました。

そして、保利先生からは「北部九州二県を考えた行政を」、坂井先生からは「買い換え社会における流通コストの軽減を」、又山崎先生からは「二十一世紀における九州の果たす役割について」ご挨拶がありました。又、この後、県市議会を代表して田中先生より、続いて佐賀県より吉野副局長や牟田鳥栖市長の挨拶があり、その後議事に移行しました。

山下代表理事より次の業務報告がありました。

- 一、平成十年度業務報告
- 一、平成十年度収支決算書案
- 一、平成十一年度収支予算案

そして、三議案は満場一致で



指山副会長



鏡開き



いっぱい、いかがですか

この日は三十度を越す夏日になっており、喉を通るビールが五臓六腑に染み渡った様です。さて、喉が潤えば後は腹ごしらえあるのみです。

まずは、目の前のごちそうを腹に詰め込んで、頃合いを見ながら、ビールを片手に卓を回って半年ぶりの再会を喜ぶ姿は、まさに県人会の例年の風物詩です。各テーブルではこの春の統一地方選の話で結構盛り上がっていました。

さて、そろそろ恒例のビンゴゲームの始まりです。

司会は例によって清村理事で、そして、今回はクラブ「あかぶるこ」の岬ママにお手伝いをしてもらいました。今年は豪華一点主義で、個数を少なくして、電化製品をメインに賞品構成をしました。テレビやビデオデッキ、カメラや腕時計など、また夏の必需品



いっぱい、いかがですか



私の、あがっていませんか

の扇風機や空気清浄機などが舞台狭しと飾ってあります。さあ、スタートです。文字盤の上を光が走り回ります。清村理事が止まった番号を読み上げます。

「アイの二十九番」、岬ママのスイッチ操作で次の番号が出ました・・・。

最初上がった人だけは商品を選ぶ権利があると言うことで、みんな真剣です。料理がちつとも減りません。

突然、会場に「上がった」と



私の、あがっていませんか



負けないぞ

これも、アツと言う間に無くなり最後の一枚は五人でジャンケンとなりました。この他にも賞品として西川さんから日本画を頂いております。又、お土産にご協力頂きました各社に厚くお礼申し上げます。さて、楽しい時間はアツという間です。「来年は五十回記念です。盛大な総会にしましょう。」と言う、井浦副会長の力強い閉会宣言で中締めとなりました。

(皆さん、次は新春懇親会でおいししましょう！)



負けなぞ

(六月十五日に抽選です)

「水間 記」

平成11年度

福岡市佐賀県人会総会

平成11年6月11日 於セントラルホテルフクオカ

例年より少し早めの梅雨入りに、青やピンクの紫陽花たちも、やや戸惑いがちな六月。街には、早くも七月の博多山笠の骨組みの準備が始まっています。

今年も少雨傾向なのでしようか、なかなか梅雨らしい梅雨になりません。

そんな晴天続きの十一日の金曜日、福岡市のセントラルホテルフクオカで平成十一年度の「福岡市佐賀県人会総会」が開催されました。

当日は百八十名を越す参加者が集まり、相変わらずの葉隠れ精神で会場の冷房もタジタジの状態でした。

さて、例年通り、井上理事の司会で十一年度の総会がスタートしました。

初めに、辻副会長より開会の言葉として、昨年の堺屋経済企画庁長官の言葉を引用して「昨今、景気の胎動が見えて来たが、この胎動とはお腹の中の赤ちゃんが動く事で、その動きは母親にしかわからない。これと同じで、景気の動きが我々自身に解るようになることを期待したい」と述べて開会宣言をされました。

続いて金子会長の挨拶に移りました。



金子会長

「皆さん、こんばんわ。会長の金子でございます。本日は平成十一年度の定例の佐賀県人会総会と言うことで、ご参加頂き誠にありがとうございます。本日も殆ど満席の状態になりました。私も本当に心強く思っております。

さて、福岡市の佐賀県人会が昭和二十六年の五月に復活されたと言うことで、今回は四十九回目の総会になる訳で



金子会長

ございますが、来年度は五十回と言う節目の年を迎える事になっております。私も前会長の永倉三郎様からこの会を引き受けまして、来年で二十年になり、隔世の感がする訳でございますが、二十六年當時は佐賀県と福岡県は何となく未だ遠いという感じがしてありましたけれども、昨今の道路整備のお陰で、佐賀市内からでも一時間で来られるよ

うになりました。まさに、県と県の境目が無くなったんじゃないだろうかと言うのが実感です。勿論唐津や伊万里方面からも通勤されている方が多いと聞いておりますが、両県が栄える事が、当県人会におきましても本望に望ましいこととでございます。よく九州はひとつといわれながら、九州はひとつひとつと言うご意見もありまして、なかなか地域のエゴと言うものは、ある意味では非常にじやまになります。またある意味ではその地域の特性を生かすと言うことでは非常に重要な事ではないかと思う訳でございます。

さて、皆様も既にご存じのように、先の統一地方選挙で当会員の方々が全員当選されました。改めて皆様にお喜びを申し上げます。

(全員のお名前を紹介)

福岡は、よく最近でこそ日本の経済界でも非常に元氣のある都市と言われておりますが、私自身子供の頃、あまり経済的な事は解りませんでした。が、当時はやはり炭鉱ブームで、ある意味では福岡は日本の中で本当に栄えた町だと聞いております。当時は勿論飛行機も新幹線も無い時代で

すから、いわゆる渾車で非常に遠い旅行であつた訳でございますが、今では福岡空港それに佐賀空港を合わせると、東京まで一日に五十便ぐらい飛んでいると言うことでございます。東京と九州と云うのが非常に近くなつております。

先だつても、今年「博多リブレイン」がオープン致しましたし、その後引き続き「博多座」がオープン致しまして、現在も歌舞伎が上演されて非常に人気を呼んでいると言うことでございます。

その他にも、道路整備等により相互の交流が盛んになると言うことは両県にとりまして非常に大きなメリットになるんじゃないかと思う次第でございます。来年度は福岡にもサミットの一部が開催され、九州が世界に認識されると言うことは非常に嬉しい事だと思ひます。最後になりましたが、私ども、ふるさと佐賀県を大切に思ひますと共に、仕事の面では非常に福岡と益々密接な関係になる訳でございますので、今後の皆様のご活躍を祈念致しますと共に、本日ご来賓の皆様のご活躍をお祈り致しまして冒頭のご挨拶

ご挨拶

法務大臣 陣内孝雄



私は去る3月8日、法務大臣を拝命いたしました。ひとえに皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。

わが国の法秩序の維持と国民の権利の保全に全力を尽くして参りますので、これ迄以上のご厚誼とお力添えの程を

賜りたいと存じます。

私は長く建設技術者として、どうすれば自然の厳しい環境の中で生存を確保し、さらに物質面で豊かな生活を営むことができるかという問題に取り組んで参りました。これからは法社会における個人と個人、集団と集団、個人と集団の関係をどう調整すれば安心で平和でしかも充実した生活を送ることができるかという新たな人間社会の課題に向けていそいそと考えます。

問もなく訪れる21世紀のわが国社会においては、社会の複雑多様化、国際化が進み、その状況の下で実施されていく規制緩和等によって社会は様々に変化いたします。国民一人一人が真の豊かさを享受し、活力あふれる社会の実現に向け努めたいと思います。

「よいふる里をよい子に」初心を忘れることなく皆様の温かいご支援を背に、与えられた職務に全力を尽くす覚悟であります。何卒宜しくお願い申し上げます。

終わりに皆様方、御家族共々尚一層の御支援とご健勝を心から祈念申し上げ挨拶いたします。

○略歴……………

昭和8年8月24日 佐賀県神埼郡神埼町に生まれる

24年3月 旧制佐賀県立佐賀中学校卒業

27年3月 佐賀県立佐賀高等学校卒業

31年3月 京都大学工学部土木学科卒業

33年3月 京都大学大学院(修士)工学研究科終了

33年4月 建設省入省

56年6月 建設省近畿地方建設局河川部長

57年10月 建設省近畿地方建設局企画部長

58年11月 建設省河川局河川計画課長

60年1月 建設省九州地方建設局長

設局長

62年1月 建設省河川局長

63年4月 参議院議員佐賀選挙区補欠選挙当選(1回)

平成元年7月 参議院議員佐賀選挙区当選(2回)

3年11月 農林水産政務次官

6年9月 参議院災害対策特別委員長

7年7月 参議院議員佐賀選挙区選挙当選(3回)

8年1月 自由民主党地方行政部会長

8年11月 自由民主党副幹事長

10年8月 参議院国土環境常任委員会委員長

11年3月 法務大臣

福岡市長 山崎広太郎



目映いばかりの新緑が力強い緑へと移りつつある中で今年も梅雨入りとなりましたが、平成十一年福岡市佐賀県人会の総会が盛大に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。

福岡都市圏にお住まいの佐賀県出身の方は十五万人とも

いわれておりますが、各界各層の分野でご活躍なされ、本市の発展ため多大のご協力を賜わっていることにつきまして深く感謝申し上げます。

貴県人会におかれましては歴史も古く大正時代の初期にはすでにまとまった活動をされていたと聞き及んでおりますが、佐賀県出身の皆様が結と親睦に大きく貢献されていることと存じます。

福岡市におきましては、今年が博多港開港一〇〇周年に当たる節目の年となっています。一〇〇周年という記念すべき

年にふさわしく三月には福岡都市高速道路と九州縦貫道が直結され、高速自動車道路網の整備が一層進み、五月には福岡空港新国際線ターミナルがオープンするなど、交通の利便性の高い都市として発展を続けております。

また、六月には歌舞伎・ミュージカルなど様々な演劇文化が楽しめる「博多座」がオープンし、大変な盛況でございました。この施設は芸どころ博多の新たな名所として大きく注目されていますが、多くの方々に愛される劇場になつてもらいたいと思っております。

地方分権が来年の春からは

制度的な第一歩を踏み出し始めますが、これからは地方の自立が強く求められる時代になつてまいります。このような変革の時代には各都市がそれぞれ個性を出し、それらを持ち寄って協力しあうことが非常に重要であります。

佐賀県では「住みたい県日本一」を目指し様々な施策を積極的に展開されているところでありますが、多極分散・多軸連携型という県の地域の特性を生かしたまちづくりが今後とも進めていかれることと存じます。

佐賀県と福岡市とは古くから大陸との交流拠点としてと

もに築けるなど地理的・歴史的に密接な関係にあります。今回の高速道路網の整備によって、経済圏として福岡と佐賀の間はさらに身近なものとなり、両者の結びつきはこれまで以上に深いものとなると思いいます。

お互いの発展には強い連携が必要であり、そのためには皆様方の変わりぬく指導、ご協力をより一層お願い申し上げます。

最後になりましたが、「福岡市佐賀県人会」の皆様がますますのご発展とご活躍を祈念いたしまして挨拶いたします。

ふるさと首長



七山村
岡本 研一 村長

「清流と緑の自然公園の村」
とんでもない田舎「ななやま」

七山村は佐賀県の西北部、背振・天山山系の尾根につながる山嶺部に囲まれ、村の中央を清流「玉島川」が流れる。自然豊かな農山村であります。北は福岡県、二丈町や前原市と境を接し、九州の経済都市福岡の中心部まで車で一時間三十分、佐賀市まで一時間の距離にあります。明治二十二年の村制施行以来、平成元年をもって村制百年を迎え現在に到っています。村総面積の約七十四％が山林・原野で占め木材の生産及び水源かん養林としての機能を保持しています。また、村民の多くは柑橘・米・野菜・茶・花きなどを中心とした複合経営を主体とする農業を営みハウスみかんや野菜や花き栽培などの施

設化により生産性の高い農業経営の確立を目指しています。観光面では、日本の滝百選に選ばれた「観音の滝」や佐賀県の自然環境保全地域に指定されている九州の尾瀬とも称される「檜原湿原」など、恵まれた自然がそのまま観光地となつています。観音の滝周辺での「ニジマス釣り大会」や地域おこしグループ「大雨風」が主催する「国際渓流滝登りインななやま」、「産業まつり」などを開催し、農業体験観光農園「おいでな菜園」やログハウスのキャンプ場「ロフティ七山」などを整備し、農産物直販所「鳴神の庄」など都市住民との交流を推進しています。

ふるさと紹介

七山村

◎観音の滝

松浦八景のひとつにも数えられる景勝地で、豊かな水量と巨大な落差がつくり出す絶景は、日本の滝百選に選ばれている。また、清流のそばに小さなほころびがあり、奥にまつられた「滝の観音」には、眼病に御利益がある観音様として沢山の人が訪れている。

◎檜原湿原

観音の滝から車で約十五分、村の南東部標高六百メートルに位置し、村花のサギソウをはじめ、植物、鳥類、昆虫など百七十種を超える生き物たちが生息しており、昭和五十一年には、佐賀県の自然環境保全地域特別地区にも指定されている。

◎鳴神の庄(公園)

七山村は知らないが、鳴神の庄は知っていると言われる朝採り野菜・果物がぎっしりと並び販売所は、昭和六十一年十二月にオープンし、福岡市や佐賀市・唐津市周辺からの買い物客が多い施設である。また隣接して、鳴神うどん・鳴神公園も整備しにぎわっている。

イベント紹介……………

・観音の滝渓流まつり「ニジマス釣り大会」

五月下旬開催

・「国際渓流滝登りインななやま」

八月の第三日曜日開催



観音の滝



美味しい七山のシンボル鳴神の庄
週末の賑わいは駐車場もいっぱいになるほど。

・むらの夏まつり

八月十六日

・ななやまむら産業まつり

十月第一日曜日

そのほか、色々なイベントも実施しています。一度とんでもない田舎「ななやま」へ足を伸ばしてみたいかがでしょうか。

問合せ先

七山村役場 企画課

電話〇九五五五八二二二

私の履歴書

宮副博昭さん

私は去る五月一日で五期20年間続けた福岡市議会議員を退任しました。この間の県人会皆様のご支援に厚くお礼申し上げます。

私は佐賀市嘉瀬町出身の母宮副さかえと、福岡県人の父大助の四男として井尻で昭和21年に誕生、100%佐賀県人ではありませんが、50%佐賀の血が流れている事を誇りに思っています。

小学生時代の夏休みは佐賀の親籍の家によく泊りに行きました。当時、国道からよく見えた大きな家も、近年は沿線の建物で見えにくく通り過ぎがちです。家の横のクリークでの魚つり、水泳や県庁前のお堀でのボート乗り、金魚すくい等を楽しみました。鮒のこぶ巻をよく作ってくれました。私の大好物で、川魚が今でも好きなのは佐賀のおかげと思っています。

大学卒業と同時に電気メー

カーに就職、佐賀市熊本勤務時に退社し宝鏡(株)の広島、福岡と転勤し、おかげで転勤上手になりました。約六年間、硝子切道具を胸に営業工事とたび回り、工事で徹夜の連続も経験しました。

昭和54年、33歳の時の市議選挙では、父が県人会会員でしたので多くの会員の方々のご支援で初当選できました。

私は歩く事が好きで黒髪山(有田、山内町境)によく登り、山頂の大岩石からの360度のパノラマは絶景です。作礼山(厳木、相知町境)にも登りました。帰りは必ず楼門の武雄温泉で汗を流すのが楽しみです。昨年九月には長崎街道を歩く会(長崎・久留米間)に参加、議会の都合で嬉野・武雄・佐賀・久留米間を完歩しました。

家族の事です。妻は約九年前から体調不良で三月に三度目の手術。三人の子供の長男

は五月に宮崎の人とハワイで挙式。結婚は本人の自由とまかせていましたので、両家で計14名だけのすばらしい、家庭的な式でした。勿論、国内での披露宴等ありません。大学生の二人の子供も成田から直行し、約四年ぶりに五人家族が一同に会しました。機会を作った長男夫婦に感謝し



曲水の宴(11年3月14日)の準備部屋にて
長男(後) 二男(前)と

ウグイスの初鳴きを聞きましが最後の議会の今朝は、帰省中の大学生の娘が私を泣かせました。私が泣きました。朝起きたら食卓に私宛の娘の手紙がありました。俵万智さんではありませんが、その時食卓で次の様な短歌が一首できました。

振り返ってみますと、父丈助が議員という縁で政治の道に入りましたが、民間企業では到底経験できない掛け替えのない体験の20年間でした。私には恵まれすぎた学びの道場であったと思います。この様な議員活動ができたのも地域をはじめ強力に支えていただいた支援者の皆様方のおかげと、この場より厚くお礼申し上げます。

……(一部省略)……

最後に私的な事で失礼ですが実は昨日、太宰府天満宮の曲水の宴で短歌を詠む事になっていましたが、雨で次の日曜日に延期になりました。下準備のための六日の土曜日に曲水の宴の会場へ参りました。その時、曲水の宴や本日の傍聴に来れない妻への感謝の短歌が浮かびました。これを詠んで私の退任の挨拶と致します。

「ありがとやう」

言葉で言えず

二十年

梅の香そえて

君に送らん」

皆さん本当にありがとございました。

ています。

最後に三月八日の市議会最終日での退任の挨拶を紙面の都合で一部を掲載し終わりますが、今後も一会員として宜しくお願い申し上げます。

「去る四日の総会質疑の朝は

このごろ

私は

人々との出逢に よろこびを

大串 安弘さん



この四月、初めての福岡支社勤務となりました。昭和四十七年に入社して今年で二十七年目を迎えます。事業、総務などの仕事をきてきて四年前に広告企画の仕事に携わりましたが、広告外勤、そして県外支社という世界は初めての経験。期待と同じに不安もありました。

赴任しての一ヶ月があつという間に過ぎ去り、日本で一番元気な街「福岡」にいる実

感がないままに時間だけが進んでいます。しかし、いい意味で緊張感も楽しみたいな一と思っています。

福岡の熱気は少々羨ましい気もしますが、どっこい佐賀もがんばっています。昨年は県民悲願の佐賀空港が開港。今年のゴールデンウィークには空港を利用した県外からの観光客も多かったように聞いております。また、唐津くんち、佐賀バルーンフェスタ、鹿島ガタリンピックなど多くの佐賀のイベントは、県民だけでなく遠来の方々の魂を揺さぶる魅力に溢れています。県人会の諸先輩の応援を得ながら私も佐賀の良さを多くの福岡の皆さんに知ってもらえるようがんばります。縁あって福岡で仕事を機会を得ました。単身赴任の特権をフルに活用して、福岡の魅力を探検したいと思っておりますので、ご指導よろしく願います。

(佐賀新聞福岡支社長、早良区藤崎一丁六エムスクエア一〇一号 ☎八五二) 六〇四一、佐賀市出身)



「介護」と 「ソニー生命」

島内 宏さん



昨年、厚生省認定のヘルパー二級(高齢者介護の為の座学と実習)を取得し貴重な体験をすることができました。ソニー生命で営業をしている私にとって驚きだったのは、どちらか「その人の思い」をよく聴いて、理解してそれを実現する為のお手伝いをする事だったからです。

介護の場合、不安でどうにもならない時だか助けてほしい。車椅子でなければ移動できない自分であっても若い頃の思い出の場所に行きたいという思い。

生命保険の場合、自分が万が一のことがあった場合、家族に不自由な思いはさせたくない。自分の資産を相続させるには、どうしたらよいか見当がつかないなど。

「伊万里の 思い出」

清村 克行さん



平成九年八月、初めて伊万里の市街地へ入る。ゆつたりと流れる伊万里川に七つの橋



「その人の思い」はさまざまです。「その人の境遇」もさまざまです。日々新たな方々にお会いしながら、「その人の思い」を実現していくお手伝いをつづけて参ります。

●携帯連絡先

●ソニー生命博多支社
☎〇九二二二六三三三九〇〇

が掛かり、大きな橋の欄干は伊万里らしく、焼物のつぼ等が飾ってあった。マンションの分譲のために行ったのであるが、なぜかしら私の生まれた「小城」のごとく時間もゆつたりと流れれており、違和感なし。都会の雑踏の中で暮らすことに慣れずぎており、自然と共に生活することで心が洗われたような気がした。

又、「秘郷・大川内山」では山口の萩にも劣らぬ景観に、ただただ驚愕。佐賀の景勝地としてもっと売り出すべきであると思う。

三十戸を完売して、今年の二月帰福。「マンション管理組合」のお手伝いがしたくて、新しく事業を始めました。財産管理を主体に不動産関連の仕事のため、また福岡県中小企業家同友会の福岡支部役員として、忙しい毎日の連続である。「ネアカ伸び伸びへこたれず」の心境です。

◎サンマの大漁に沸く

伊万里湾に一月中旬、サンマの大群が出現。うわさを聞いた釣りファンや近所の人が殺到、時ならぬサンマラッシュに沸いた。

海面からはっきり魚影が見えるほど大群が回遊。さびき釣りではほとんど入れ食い状態。型は三十三センチ。三十分で約五十匹を釣り上げた人もいた。

伊万里市の釣具店「まるきん」では「年明けとともに湾内に現れた。イルカに追われて大群が紛れ込んだのだろ」とみている。

◎資料館は本丸跡に

佐賀城本丸跡（佐賀市城内Ⅱ赤松小跡）に県立歴史資料館（仮称）が建設されること、が事実上決まった。

本丸跡遺構の保存と資料館建設問題を協議していた県教委の「歴史資料館建設検討委員会」（会長・杉谷昭久留米

大教授、八人）が二月十八日、同教委の意向通り、遺構の保全に配慮しながら一体的に整備することで意見の一致をみた。県教委は平成十一年度、基本計画づくりに着手する。

また、資料館の展示については「佐賀の幕末・明治維新期を中心に当時を体感できる内容にする」ことを決めた。

◎閑叟公、故郷に眠る



御霊屋から墓所に運ばれる遺骨＝佐賀郡大和町で

佐賀藩十代藩主鍋島直正（号・閑叟）が、一八一四（一七一年）の遺骨と副葬品が二月十八日、佐賀郡大和町春日山の鍋島家墓所に埋葬された。

直正は明治四年に東京で死去。港区元麻布の墓所に埋葬されたが、「故郷の静かな場所」という子孫の意向で改葬されることになり、百二十八年ぶりに佐賀の地で眠りについた。

埋葬に先立ち、御霊屋（おたまや）で御霊前祭があった。鍋島家十四代当主の直要（なおもと）さんと長男直昌（なおまさ）さんら子孫が列席。雅楽演奏や玉串奏でんなどの神事の後、地下三メートルの石室に安置した。

埋葬されたのは直正をはじめ奥方の盛姫、筆姫、孫の直英と殉死した近侍古川松根の五人の遺骨とその副葬品。これらの遺品は埋葬前二日間だけ、佐賀市松原の徴古館で一般公開され、約四千五百人が見学、遺徳を偲んだ。



◎佐賀市が9連覇



一位でテープを切る佐賀市の選手

第三十九回都市対抗県内一周駅伝大会（佐賀陸上協議会、佐賀新聞社主催、ネットヨタ特別協賛）が二月十九・二十一日の三日間にわたり行われた。

最終日は唐津市から佐賀市までの12区間79・2キロで争い、前日までのリードを守り抜いた佐賀市が、三日間累計15時間59分59秒で九年連続、三十二回目の優勝を飾った。

二位以下は次の通り。

- 二位 杵島16時間6分48秒
- 三位 神埼16時間7分27秒
- 四位 伊万里16時間11分19秒

◎筑後川にハープ橋

筑後川をまたいで三養基郡三根町と久留米市大善寺町を結ぶ新「天建寺橋」が完成。三月十八日渡り初めが行われた。

橋は長さ四百二十六メートルで二基の橋脚（高さ五十四メートル）から計八十本のワイヤーで橋げたを吊る斜張橋。楽器のハープを連想させる美しい構造だ。幅員は十二メートルで、二車線と歩道が設けられた。ハープ橋は筑後川で初めて。

◎旧ダイエー店に開業

佐賀市白山の旧ダイエー佐賀店に四月十八日、地元服飾店「ヒートアイランド」（品川誠一社長）がオープンした。関係者は再開発ビル「エスブラッツ」とともに中心市街地の求心力アップに期待している。

旧ダイエー佐賀店は地上六階建て（売り場面積約五千九百平方メートル）で営業している。

店内には吹き抜けを設け、ショウウィンドーも増やすなど明るい雰囲気全面改装した。婦人服、紳士服、子供服、化粧品、宝飾品、雑貨などの売り場がある。駐車場は約六十台分。営業時間は午前十一時～午後八時。



◎佐同友がモデル案

佐賀経済同友会（杉町誠二郎代表幹事、百五十四人）が五月二十六日、「市町村の合併促進に関する提言」をまとめ、井本知事に提出した。効率的な財政運用や企業活動の広域基盤整備など、企業人の視点から合併の利点を挙げ、県内四十九市町村を市郡単位に五つか、六つかの新しい自治体に再編するモデル案を示している。

提言をまとめた中村敏郎・広域行政検討委員長は「具体的な枠組みを示すことで、なかなか進まない議論の口火を切りたい」と意欲をみせた。

合併案は、生活圏や歴史性を考慮しており、五分割の場合には▽佐賀市郡・神埼郡・多久市・小城郡（人口三十六万人）▽鳥栖市・三養基郡（十万人）▽唐津市・東松浦郡（十五万人）▽武雄市・杵島郡・鹿島市・藤津郡（十八万人）▽伊万里市・西松浦郡（八万人）を想定している。

◎「あこがれの家」解体

安本末子さんの文学作品「にあんちゃん」に、「あんなきれいな家に、いちどでいいからすみたいなあ」と描かれた肥前町役場旧庁舎の解体工事が六月三日から始まり、姿を消した。

旧庁舎は昭和十年完成。鉄筋コンクリート二階建てで、随所に彫刻を施した丸い柱を使うなどモダンな造り。当時、鉄筋コンクリートの建物が珍しく、「にあんちゃん」が書かれた昭和二十年後半でも、唐津・東松浦地区では他に唐津警察署やまいづるデパートがあった程度という。

しかし、老朽化が進んだことから、役場は昨年十月、新しい庁舎に移転した。解体式で、井上良富町長は「代々の職員の手と汗がしみ出るような庁舎。消えてしまふことに寂しさもある」と述べた。

○この欄の記事・写真は佐賀新聞社の提供です。



筑後川にかけられた斜張橋・天建寺橋

旧「天建寺橋」は昭和二十九年に建設され、老朽化が著しいうえ、幅員が三・五メートルと狭く、四トン以上の車両は通行できなかった。佐賀・福岡両県が平成七年九月から旧橋のすぐ上流部に新橋を建設。工費は約百億円、それぞれの県が五十億円を負担した。

◎権藤監督の記念碑

昨年のプロ野球日本シリーズで「日本一」に輝いた横浜ベイスターズの権藤監督（六〇）は鳥栖市出身の記念碑が鳥栖市民球場横に完成。



鳥栖市民球場横に完成した記念碑と権藤監督

言葉が刻まれている。除幕式に望んだ同監督は「こんなことになり、照れくさい気持ちだ」と笑顔であいさつ。同席した少年野球チームの選手には「運は自分でつかむもの。やればできる」と呼びかけた。

地方統一選挙

全員1人選おめでとう

います

今年四月にありました。
地方統一選挙では県人会に関係ある先
生方が全員当選されました。会員皆様
とともに喜び申し上げます。

井本 勇 佐賀県知事
麻生 渡 福岡県知事

田中 久也 福岡県議会議員
武藤 英治 福岡県議会議員
古川 忠 福岡県議会議員
井手 勝美 福岡県議会議員
川上 義之 福岡市議会議員
南原 茂 福岡市議会議員
小島 久弥 福岡市議会議員
岡部 茂夫 太宰府市議会議員



11月

- 1日 葦筒神社秋まつり(嬉野町)
1~2日 三獄神社秋まつり(鹿島市)
1~3日 お茶と温泉まつり(嬉野町)
1~3日 志田焼の里陶芸ふるさとまつり(塩田町)
2~3日 琴路神社秋祭(鹿島市)
2~4日 唐津くんち(唐津市)
3日 東脊振村ふる里まつり・文化祭(東脊振村)
3日 くんち(佐賀市堀江神社、塩田町八幡宮・志田神社・味島神社・丹生神社)
3日 小城市ふるさと祭(小城市)
3日 三日月ふるさとふれあい祭(三日月町)
第1日曜日 千代田町ふな釣り大会(千代田町)
第1・2日曜日 ふるさと茂安祭(北茂安町)
上旬 第8回べったんご祭・有明町文化祭(有明町)
上旬 牛津町産業まつり西の浪花の復活祭(牛津町)
上旬 たらふるさと祭(太良町)
上旬 菊花展(川副町)
上旬 シンメンソウ紅葉見頃(東与賀町干潟いこの広場)
第2土曜日 猪ノ子綱引き(鎮西町)
13~14日 江北町産業まつり(江北町)
14日 感謝祭(大町町)
第2土曜日 北方町産業まつり(北方町)
第2土曜日 北波多ふれあいフェスティバル(北波多村)
第2土曜日 肥前町産業文化財(肥前町)
第2日曜日 クリーンディー(東脊振村一円)
第2日曜日 川副町フナ釣り大会(川副町)
15日 お日待ち(鹿島市、藤津郡、杵島郡有明町)
15日 大町・長崎街道がごき競争(大町町)
15日 石場奉納相撲(有田町)
第3日曜日 北波多ロードレース大会(北波多村)
中旬 風のふるさとまつり(厳木町)
中旬 風のふるさとスケッチ大会(厳木町)
中旬 鎮守のまつり(山内町)
中旬 国際交流柿むき大会(大和町)
中旬 東与賀町干潟ロードレース大会(東与賀町)
中旬・下旬 九年庵紅葉祭り(神埼町)
21~23日 中原町きてみん祭(中原町)

12月

- 22日 吉野ヶ里炎祭り(三田川町)
22日 にげもち(西有田町曲川本村)
23日 三島神社祭(玄海町)
23日 若木町湖水まつり(武雄市)
23日 玄海10キロロードレース大会(玄海町)
23日 久池井浮立(大和町)
亥の日(夜) 亥の子(玄海町)
下旬 '99佐賀インターナショナルバルーンフェスタ(佐賀市)
下旬 民陶火まつり(武雄市黒牟田)
下旬 陶都有田ロードレース大会(有田町)
下旬 茶わん祭(有田町)
下旬 辰まつり(嬉野町吉田)
下旬~12月上旬 湯のまち武雄の物産まつり(武雄市)
下旬~1月15日 サガ・ライトファンタジー(佐賀市)
30日 神待ち祭(塩田町)
30日 お灯夜(東脊振村坂本地区)
1日 山寺まつり(伊万里市)
初旬 茶筌供養茶会(鎮西町)
第1日曜日 相知10キロロードレース大会(相知町)
6日 日の隈ロードレース大会(神埼町)
7日 佐野祭(川副町)
7~8日 鹿島市特産品まつり(鹿島市)
8日 お火たき(鹿島市祐徳稲荷神社)
13日 ダイコン祭(白石町馬洗地区)
第2土曜日 まほろば祭(大和町)
第2日曜日 肥前町ロードレース大会(肥前町)
第2日曜日 川上峡ロードレース大会(大和町)
20日 山の神祭(東脊振村永山)
26日 お火たき(有明町稲佐神社)
31日 プリ祭(佐賀市佐嘉神社)
下旬 収穫祭(川副町農業高等学校)
2番ひつじの日 お火たき(塩田町八天神社)
初旬の日前夜 取り追い祭(伊万里市二里町)
31日 除夜の鐘(東脊振村修学院)

'99郷土の歳時記

8月

- 1日 祐徳神社夏祭(鹿島市)
第1金・土曜日 栄の国まつり(佐賀市)
第1土曜日 夏まつり(相知町)
第1土曜日 堀デーちよだ(千代田町)
第1日曜日 豊原まつり(七山村)
第1日曜日 唐津海上運動会(唐津市)
第1日曜日 どんちゃん祭り(伊万里市)
5日 名護屋城跡本丸新能(鎮西町)
7日 セツ祭(県内各地)
7~8日 鹿島おどり(鹿島市)
8日 北山湖祭(富士町、三瀬村)
10日 水光呼子港まつり(呼子町)
10日 金比羅不知火祭(佐賀市金立町)
上旬 太良町納涼夏まつり(太良町)
上旬 納涼夏まつり(東脊振村)
上旬 ふるさと夏まつり・花火大会(北波多村)
上旬 花火大会灯籠流し(大和町川上峡)
上旬 いろは島フェスタ・シーカヤッタ大会(肥前町)
上旬 カヌーマラソン(神埼町)
第2土曜日 納涼花火大会(西有田町)
第2土曜日 風まつり(中原町)
11日 嬉野温泉夏まつり(嬉野町)
13日 盆綱引き(東脊振村下石動)
13~14日 虎まわし(伊万里市大川町)
13~16日 盆・盆市・盆踊り(県内各地)
14日 モッコ踊り(伊万里市黒川町)
14日 納涼まつり・盆踊り・花火大会(大町町)
中旬 脊振ふるさとまつり(脊振村)
中旬 国際交流滝登りinななやま(七山村)
15日 海中綱引き(鎮西町波戸港)
15日 精霊流し(芦刈町、大町町、久保田町、佐賀市、江北町)
15日 盆綱引き(鎮西町名護屋港)
15~16日 多久山笠まつり(多久市)
16日 武雄温泉夏まつり(武雄市)
16日 えんま祭(唐津市浄春寺)
16日 内砥川大盆綱引き(牛津町)
16日 むらの夏まつり(七山村)
16日 納涼まつり(厳木町)
16日 北方町盆踊り大会(北方町)
16日 塩田町夏まつり(塩田町)
17日 梧竹まつり(小城市)
17日 夢トピアうしつ夏まつり(牛津町)
18日 十八夜祭(西有田町大木宿)
20日~9月下旬 観光農園(伊万里市)
25日 下石動天満宮奉納相撲(東脊振村)
25日 子供太鼓浮立・潮止観音(福富町)
28日 不動尊祭(北方町大聖寺)
下旬 朝日川フェスタすいすいハイキング大会(武雄市朝日町)
下旬 風のふるさと九州将棋大会(厳木町)
下旬 かっぱの里のイカダレース(北波多村)
下旬~9月上旬 花火大会(神埼町)
31日 二百十日風日(塩田町)

9月

- 1日 二百十日祈願(鹿島市内)
1日 田ほめ(鳥栖市)
1日 愛宕神社風まつり(牛津町)
第1日曜日 ぼた山FESTA in きたがた(北方町)
上旬 国際交流推進ミニフォーラム(神埼町)
上旬 かけ参り(有明町)
12日 小松神社秋祭(佐賀市)
12日に近い日曜日 江見沖神事(三根町)
第2日曜日 太良嶽神社秋祭(太良町)
第2日曜日 母ヶ浦の面浮立(鹿島市)
第2日曜日 音成の面浮立(鹿島市)
15日 放生会(北茂安町千栗八幡宮)
15日 行列浮立(北茂安町)
中旬 天山祈念碑祭
中旬 唐津焼展(唐津市)
中旬 産業祭(諸富町)
中旬 古湯映画祭(富士町)
中旬 TAKEO世界一登業まつり(武雄市竹古崎キルンの森公園・飛龍峯)
中旬~10月下旬 佐里コスモス遊園(相知町)
15~22日 広瀬浮立(厳木町天山神社)
20日 八幡神社彼岸燈夜(牛津町)

10月

- 21日 白木孔子像祭(江北町)
23日 御神幸祭(基山町荒穂神社)
23日 天川浮立(厳木町)
23日 行列浮立(中原町)
23日に近い日曜日 白石焼陶器祭(北茂安町)
秋分の日 観音の満彼岸まつり(七山村)
秋分の日 高瀬・宇土手・中野の荒踊り(武雄市)
秋分の日 袴野の面浮立(武雄市)
24日 旗おろし神事奉納相撲大会(中原町)
27~29日 大町ソウケ市(大町町本町)
下旬 納所住吉神社御神幸祭(肥前町)
1日 八朔(有明町海童神社)
2~3日 ザル市(諸富町)
10日 府招浮立(伊万里市南波多町)
10日 くんち(小城市天山神社)
10日 長崎街道まつり(佐賀市)
10~11月24日の日曜日 佐賀歴史街道フェスティバル(佐賀市)
10~12日 日暮さん(佐賀市松原神社)
10日(第2日曜) ふれあい釣り大会(江北町鳴江公園)
12日 高志狂言(千代田町高志)
上旬 脊振溪流まつり(脊振村)
上旬 相知町フラワーフェスタ秋の収穫祭(相知町)
上旬 鯛釣り大会(肥前町)
上旬 産業まつり(七山村)
上旬 丹邱の里レディースロード大会(多久市)
上旬 入野神社御神幸祭(肥前町)
第2日曜日 香椎神社秋祭(久保田町)
14~16日 五の宮神社秋祭り(鹿島市)
15日 八幡神社の御幸祭(玄海町)
15日に近い日曜日 浮立(大和町)
15日に近い日曜日 村田浮立(鳥栖市村田町村田八幡宮)
16日 有田供日(有田町)
中旬 三重獅子舞・太田浮立(諸富町)
中旬 クロスカントリー大会(浜玉町)
中旬 星賀八幡神社御神幸祭(肥前町)
中旬 徐福の里コスモス祭(佐賀市)
中旬 市川天衛舞浮立(富士町諏訪神社秋祭)
中旬 豊公祭(鎮西町広沢寺)
17日 有田血山まつり(有田町)
18~19日 田楽と秋祭(佐賀市白嶺神社)
18~19日 相知くんち(相知町)
19日 値賀神社秋祭(玄海町)
19日 八幡神社秋祭(牛津町)
19日 くんち(北方町、有明町、有明町稲佐神社、芦刈町乙宮神社、福富町福富神社、白石町妻山神社、六角神社、大町町八幡神社、江北町)
第3日曜日 市民健康福祉まつり(鳥栖市)
第3日曜日 孔子祭、多久聖廟秋祭(多久市)
20日に近い日曜日 獅子舞、タツタ浮立、さいのけ浮立(三根町内)
四阿屋神社の御田舞(鳥栖市蔵上町老松宮)
22~23日 武雄温泉秋まつり(武雄市武雄神社)
22~24日 伊万里市トントントン祭(伊万里市)
25日 浜玉宿フェスティバル(浜玉町)
26日 カヌーマラソン(神埼町)
29日 くんち「流鏑馬」(山内町)
下旬 探燈大護摩供(脊振村脊振神社)
下旬 緑の倍増計画「実のなる木」植樹祭(佐賀市)
下旬 海童神社・松枝神社秋祭(川副町)
下旬 富士町ふれあい祭(富士町)
下旬 ムツゴウロードレース大会(芦刈町)
下旬 田舎と都市のふれあい森(三瀬町)
下旬 米多浮立(上峰町)
下旬 羅漢まつり(小城市)
下旬~11月上旬 生涯学習フェア(西有田町)
最終土曜日 多久祭り(多久市)
旧暦8月25日 大屋敷浮立(七山村)
31日~11月5日 藩祭秋まつり(伊万里市)



カローラV30達成記念 特別仕様車

30年分の感謝をこめてXE-Saloonを
さらに磨きあげた特別なカローラが誕生しました。



信用で売る店

トヨタカローラ福岡

本社：福岡市中央区長浜2丁目1番5号 ☎ 092(712)7111代表

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏 名	郵便番号	住 所 (自宅)	電話番号	職業・勤務先	出身地
小 畠 久 弥				市議会議員	武雄市
白 木 秀 彦				富士ピーエス福岡	多久市
柴 田 峰 夫				福岡シバリン	呼子町
古 川 直 道				鉄建建設(株)	三田町
島 内 宏				ソニー生命保険	佐賀市
恒 川 光 二				飛島建設(株)	唐津市
坂 口 京 子				美保姿きもの学院	鎮西町
山 田 憲 治				山田仮設工業	鹿島市
長 島 準 二				アーバン・コア昭和	唐津市
宮 原 静 昭				(株)TXN九州	唐津市
森 田 稔				セイワ特殊印刷	鹿島市
北 村 和 秀				サガテレビ	川副町
野 口 喜 美				(株)テクノハウス	佐賀市
山 口 正 信				(有)銀河	多久市
江 口 洋 一				佐賀県福岡情報センター	大和町

佐賀情報センター
だより

本年四月に「波戸岬少年自然の家」が鎮西町にオープンしました。

青少年を自然に親しませ、いろいろな体験を通じて、情操や社会性を豊かにし、優しさや逞しさを育むことを目的として建設された海浜型の自然の家です。敷地は約8万㎡、建築面積七千㎡で宿泊定員は300人となっています。

波戸岬周辺の新たな集客施設としても期待されています。

青少年に限らず、家族・グループはもとより企業・職場の研修にも低料金で利用できるようになっていきます。

次に7月8日にオープンしました「佐賀県立宇宙科学館」を紹介します。

日本最古の「天球儀」や「地球儀」、また日本で最初に造られた青銅製臼砲等の貴重な文化財がたくさん残っており、歴史的にも近代日本の科学産業の先駆的な役割を果たした武雄市、中でも野外自然観察や天体観測などに適した自然環境に恵まれた保養村の一角に本県で初めての科学館が建設されました。

建設本体48億円、館内展示施設に約32億円かけて、「宇宙から地球・佐賀を発見する。」をテーマに「参加や体験」を中心に面白く楽しく体感できる施設となっています。展示内容は、宇宙・地球佐賀の各

発見ゾーン、こどもの広場、科学のおもちゃ箱、プラネタリウム・天文台となっています。

九州でも類を見ない充実した内容になっており武雄市はもとより本県の重要な観光スポットとしての期待が高いものです。

またこれらの施設の運営については、多様なニーズに的確に応え、柔軟な発想に基づく弾力的かつ効率的な運営を図るため「佐賀県教育文化振興財団」を設立し、既存の「黒髪少年自然の家」と「北山少年自然の家」とともに当財団にその管理運営を委託されています。

佐賀情報センターの近況

開設当初から三年間所長を勤められた西村貞幸氏は福祉保険部の介護保険準備室長に転出され、福祉保険部福祉課から江口洋一氏が新任所長として赴任されました。新所長は大和市の出身で、毎朝高速バスで通われています。仕事は勿論遊び大好き人間だそうなんです、会員の皆様の御指導をよろしくとのことでした。

ところで十一年度のイムズ七層、情報センターでのイベントは盛り沢山です。会員の皆様方は勿論、家族・隣近所、職場の方々をお誘いの上御来場下されば幸いです。また会員の皆様方の発表・展示のスペースとしての開放も検討しています。是非、相談して下さい。

佐賀県福岡情報センター

福岡市天神イムズ七F
☎〇九二七三三二〇三三

編集デスク

平成十一年度定期総会号をおとどけいたします。取材・記事は水間理事にお願いいたしました。毎回の骨折りに感謝します。会員の皆さんの元気なお顔に接し時間の過ぎるのも忘れる程でした。

会長の挨拶にもありました様に来年は五十回目の総会を迎えます。再会を楽しみにお待ちしております。

「私の履歴書」の(元福岡市議)宮副昭昭さんの人柄をしのばれる文面には、ほろりとさせられました。奥様の健康を守るために五期二十年のご活躍に終止符を打たれるお心境を察し、これからの奥様はじめご家族皆様のお幸せを心よりお祈りいたします。

(T)

会報むつごろ

平成11年7月25日発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 田中 秀男)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商事石油株式会社
☎092-714-3111
制作 有限会社タナカ
☎0955-23-5214